

# ESW2-350G スイッチのポートまたはリンク 集約 グループ ( ラグ ) インターフェイスへのバインド アクセス リスト ( ACL )

## 目標

アクセス リスト ( ACL ) がネットワークトラフィックをフィルタリングするのに使用されています。実施される ACL に関してはスイッチのインターフェイスに結合 する必要があります。どの着信パケットでも判別するためにそのインターフェイスに結合 される ACL とそれからかどうかパケットを転送するか、または廃棄するために一致します。MAC、IPv4 および IPv6 ACL は各インターフェイスに結合 することができます。同じプロトコルの多重 ACL は同じインターフェイスにそれら結合する必要があります望ましい 効果を達成するために結合 することができません。

この資料に ESW2-350G スイッチのリンク 集約 グループ ( ラグ ) インターフェイスに ACL を結合 する方法を説明されています。

注: 有効になるためにバインド ACL をポートに設定するか、またはインターフェイス ACL および ACE 最初に作成されなければなりません遅らせて下さい。技術情報 [MAC によって基づく ACL および ESW2-350G スイッチ](#) および [IPv4-Based ACL の ACE 設定及び詳細](#) については [ESW2-350G スイッチの ACE 設定](#) を参照して下さい。

## 適当なデバイス

- ESW2-350G
- ESW2-350G-DC

## [Software Version]

- v1.2.6.28

## ポートまたはラグ インターフェイスへのバインド ACL

ステップ 1. スイッチ設定 ユーティリティへのログインは [アクセスコントロール > ACL バインディング](#) を選択し。ACL バインディング ページは開きます:

## ACL Binding

A port can be bound with either a [policy](#) or an ACL, but not both.

The default action is to discard (Deny Any) all the packets that do not meet the rules in an ACL. You can override the default action of an ACL to forward those packets by configuring Permit Any on the desired ports.

ACL Binding Table						
Filter: Interface Type equals to <span>Port</span> <span>Go</span>						
<input type="checkbox"/>	Entry No.	Interface	MAC ACL	IPv4 ACL	IPv6 ACL	Permit Any
<input type="checkbox"/>	1	GE1				
<input checked="" type="checkbox"/>	2	GE2				
<input type="checkbox"/>	3	GE3				
<input type="checkbox"/>	4	GE4				
<input type="checkbox"/>	5	GE5				
<input type="checkbox"/>	6	GE6				
<input type="checkbox"/>	7	GE7				
<input type="checkbox"/>	8	GE8				
<input type="checkbox"/>	9	GE9				
<input type="checkbox"/>	10	GE10				

Copy Settings... Edit... Clear

呼び出します。ACL バインディング ページはデフォルトでポート インターフェイスのためのすべての ACL バインディングを示します。フィルタから『Port』を選択するか、または遅らせて下さい: ドロップダウン リストへのインターフェイスの種類等号は、すべてのポートまたはラグ インターフェイスを表示するために『Go』をクリックし。

ステップ 3.追加するか、またはポートのための ACL バインディングを修正するか、またはインターフェイス遅らせて下さい。チェックボックスを望ましいポートがあるように確認しか、またはインターフェイス遅らし、『Edit』をクリックして下さい。編集 ACL バインディング ページは開きます。

Interface:  Port GE2  LAG 1

Select MAC-Based ACL: Testing

Select IPv4-Based ACL: Testing1

Select IPv6-Based ACL: Testing 2

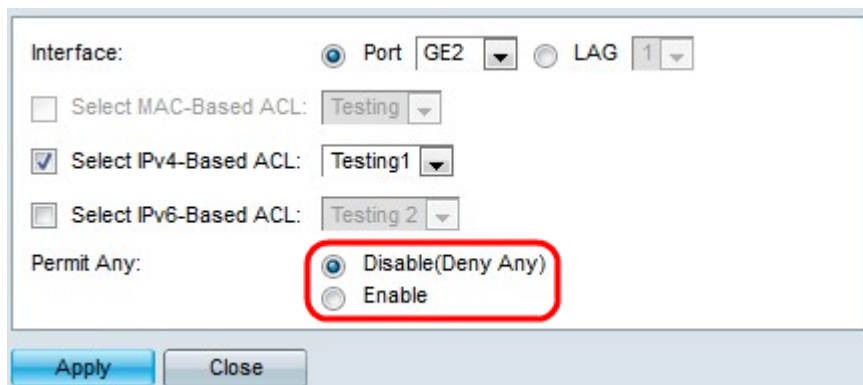
Permit Any:  Disable(Deny Any)  Enable

Apply Close

ステップ 4 3 異なる ACL はポートまたはラグ インターフェイスに結合 することができます。それらは次のとおりです。

- MAC ベースの ACL — MAC ベースの ACL を結合 し、選定された MAC ベースの ACL チェックボックスをチェックし、望ましい ACL をドロップダウン リストから選択するため。
- IPv4-Based ACL — IPv4-Based ACL を結合 し、選定された IPv4-Based ACL チェックボックスをチェックし、望ましい ACL をドロップダウン リストから選択するため。
- IPv6-Based ACL — IPv6-Based ACL を結合 し、選定された IPv6-Based ACL チェックボックスをチェックし、望ましい ACL をドロップダウン リストから選択するため。

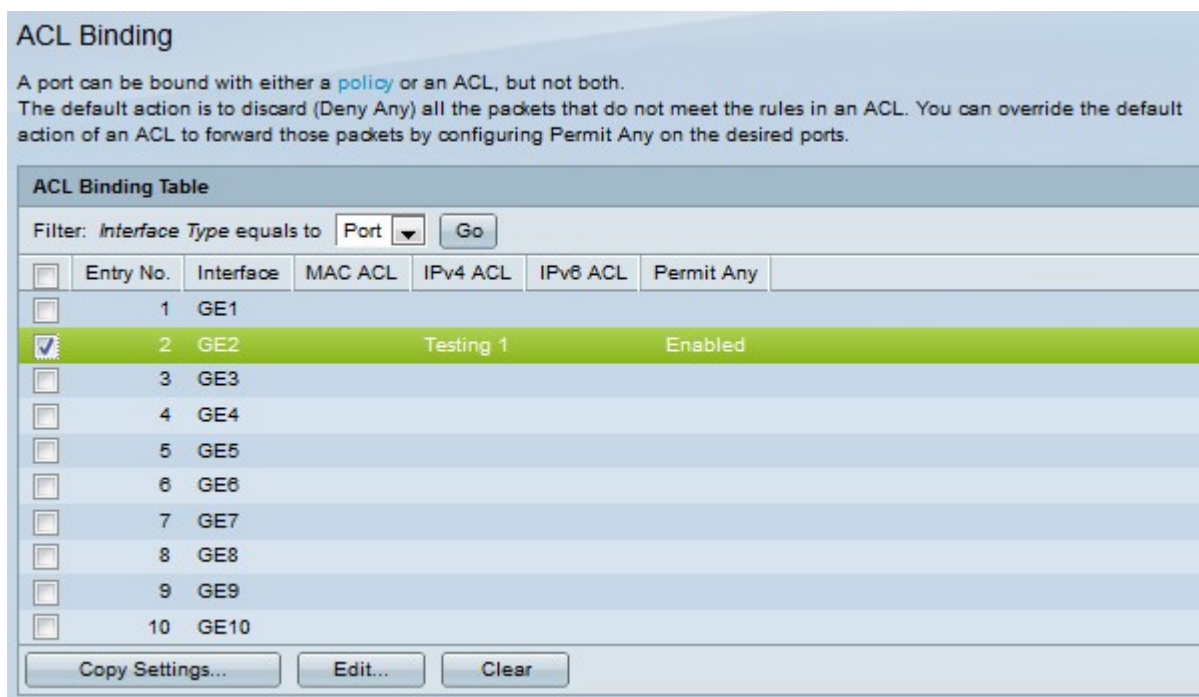
注: 利用可能な ACL がそのプロトコルの下にある場合その時だけ上記のいずれかのオプションのためのチェックボックスおよびドロップダウンは強調表示されます。



ステップ 5. 割り当てからの望ましいオプションをあらゆるフィールドをクリックして下さい。

- デイセーブル ( 否定して下さい ) — IP パケットが設定される ACL を一致する場合それは denied ( dropped ) です。
- IP パケットが設定される ACL を一致する enable — それは許可されます。

ステップ 6. ポートまたはラグ インターフェイスに選択された ACL を結合 するために『Apply』 をクリックして下さい。



Entry No.	Interface	MAC ACL	IPv4 ACL	IPv6 ACL	Permit Any
1	GE1				
2	GE2		Testing 1		Enabled
3	GE3				
4	GE4				
5	GE5				
6	GE6				
7	GE7				
8	GE8				
9	GE9				
10	GE10				

ステップ 7. ( オプションの ) は他のポートまたはラグ インターフェイスの ACL バインディングを追加するか、または修正するためにステップを 3-5 繰り返します。

ステップ 8. ( オプションの ) クリア ポートまたはラグ インターフェイスのすべての ACL バインディング。チェックボックスをクリアされるべきラグ インターフェイスの隣でチェックし、『CLEAR』 をクリックして下さい。


ACL バインディングをポートまたは遅れインターフェイスから他のポートまたは遅れインターフェイスにすぐにコピーし、コピーするためにチェックボックスを遅れインターフェイスの隣でチェックし、設定を『Copy』 をクリックするステップ 9. ( オプションの ) ... Settings ページ コピーが開く。

Copy configuration from entry 2 (GE2)

to:  (Example: 1,3,5-10 or GE1,GE3-GE5)

ポートを入力するか、またはカンマで、かにダッシュが付いているポート範囲またはラグインターフェイス、に分かれるインターフェイス遅らせて下さい: フィールドは規定されたラグインターフェイスに設定をコピーするために『Apply』をクリックし。

**ACL Binding**

 Success. To permanently save the configuration, go to the [Copy/Save Configuration](#) page or click the Save icon.

A port can be bound with either a [policy](#) or an ACL, but not both.  
The default action is to discard (Deny Any) all the packets that do not meet the rules in an ACL. You can override the default action of an ACL to forward those packets by configuring Permit Any on the desired ports.

**ACL Binding Table**

Filter: *Interface Type* equals to

<input type="checkbox"/>	Entry No.	Interface	MAC ACL	IPv4 ACL	IPv6 ACL	Permit Any
<input type="checkbox"/>	1	GE1				
<input type="checkbox"/>	2	GE2		Testing 1		Enabled
<input type="checkbox"/>	3	GE3				
<input type="checkbox"/>	4	GE4				
<input type="checkbox"/>	5	GE5				
<input type="checkbox"/>	6	GE6		Testing 1		Enabled
<input type="checkbox"/>	7	GE7		Testing 1		Enabled
<input type="checkbox"/>	8	GE8				
<input type="checkbox"/>	9	GE9				
<input type="checkbox"/>	10	GE10				

設定をコピーし、保存するステップ 10. ( オプションの ) は永久に技術情報[ダウンロードがバックアップコンフィギュレーションを参照し、](#)[ESW2-350G スイッチをログオンします。](#)